

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		施設運営管理事業（コミュニティセンター）						予算事業名		施設運営管理経費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例（小田林，城南，南部中央）							
				02	01	10	0501	経常経費									
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業							
		5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり（市民参加・広															
		③コミュニティの活性化															
		2コミュニティセンターの運営						担当課係等		まちづくり協働課							
事業期間		継続（昭和62年度～ 年度）										協働推進係					
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
市民（地域）のコミュニティ活動や交流の場とし，相互の親睦と融和を図る。地域社会の生活や文化活動の充実と住民福祉の向上を図る。								市民のコミュニティの場及び相互の親睦や融和の促進を図る目的で事業を実施。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
小田林，城南，南部中央コミュニティセンターの運営管理								コミュニティ施設利用者									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								コミュニティの場として必要性は高まっている。									
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】									
施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等） 樹木伐採委託（城南，南部中央）				施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等）				施設運営管理，施設修繕，委託（清掃管理・保守点検等）									

■事業費					
		R01年度	R02年度		
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他	652	729		
	一般財源	2,050	2,024		
歳入計（千円）		2,702	2,753		
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）		
	10 需用費	1,640	1,770		
	11 役務費	208	122		
	12 委託料	791	797		
	13 使用料及び賃借料	43	44		
	18 負担金補助及び交付金	20	20		
歳出計（千円）（A）		2,702	2,753		
伸び率（％）			1.88		
備考	総合計画135ページ 予算書47ページ				

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	管理委託件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	利用件数	件	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	2,133.00	0.00	0.00
	利用者数	人	目標	30,000.00	30,000.00	30,000.00
			実績	26,574.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域コミュニティの場として必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市の公共施設であるが、地域の実情に応じた運営を図るため、地域の施設運営委員会に管理を委託している。
	手段の妥当性	A 妥当である	条例及び条例施行規則に準じ、適切に運営されている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	運営管理は施設運営委員会に委託しており、市が直接管理するよりコストは低い。建設されてから30年を経過する施設もあり、老朽化により維持管理に費用を要する傾向にある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	地域住民をはじめ、市内の団体等が幅広く利用している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	地域コミュニティの拠点施設として、有効に利用されている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	地域コミュニティの拠点施設として定着している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各施設とも地域コミュニティの拠点施設として定着しており、地域には必要な施設である。施設の中には老朽化が進んでいるものもあり、設備や備品も含めて修繕を要する傾向にあるため、今後の維持管理に係るコスト面で課題がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
利用者の施設利用に関しては、地域の施設運営委員会と連絡を密にし、的確な管理や地域の実情に沿った運営ができるよう取り組む。施設設備等の老朽化に伴う修繕については、個別施設計画に基づき維持管理していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	